

団体名

中津川仙台下クラブ

市民事業等支援制度に係るアンケート調査票

1 補助を受けて、活動に広がりや深まりが見られたか

市民事業等支援制度を利用して、活動にどのような変化が見られたか、A～Dの4段階で評価していただき、その理由や今後の改善点（団体自らできることや市民事業等支援制度の改善点等）を具体的に記入してください。

評価項目	評価のポイント	評価欄	具体的な理由や改善点
活動参加者について	<input type="radio"/> 参加者数の増加が見られたか <input type="radio"/> 参加者層（年齢層や地域分布など）に広がりが見られたか	A	<ul style="list-style-type: none"> 新しく立ち上げた「部会活動」への参加者は子供を含め若い年齢層が増加した。 私たちが整備している河川敷の利用者（キャンプやバーベキュー、散策 等）が増加し、「ゴミ拾い作業」の参加者も増加した。
事業の実施について	<input type="radio"/> 事業実施箇所の広がりが見られたか <input type="radio"/> 活動回数の増加が見られたか <input type="radio"/> 活動内容の高度化が図られたか <input type="radio"/> 事業メニューに広がりや深まりが見られたか	A	<ul style="list-style-type: none"> 実施箇所は中津川河川敷 5.4ha の草刈りと整備を毎年実施（範囲固定）していますが、この他に隣接する「河川保全区域の竹林」の整備を拡大しながら進めています。 毎月1回の「全体作業」の他に個人の自主作業を数多く実施している。 刈払機・チェーンソーの安全講習会修了者が増え技能の高度化が図られて来た。
新たな関係性が構築されているか	<input type="radio"/> 補助制度を通じて様々な主体（他団体や基礎自治体など）との関係性が新たに構築されたか	B	<ul style="list-style-type: none"> 河川整備関係団体が少ないため交流は少ないが、「日本の竹ファンクラブ」との共同作業や森林整備団体のイベントへ参加等を実施した。 町のサポートセンター登録により、「まちづくりネットワーク」に加入し、町の支援・協働に向けて今後活動を行って行く。
団体の自立につながっているか	<input type="radio"/> 活動内容の広がりや深まりにより、会員数の増加が見られたか	A	<ul style="list-style-type: none"> 会員増加対策として「田んぼ部会」と「中津川とふれあう会」を立ち上げ、本来の「整備活動」とは別に子供も含めて参加出来る活動を実施した事により会員が倍増（H26年度で18人から38人に増加、現在41人）出来ました。

A…概ね達成できている

C…どちらかと言えば達成できていない

B…どちらかと言えば達成できている

D…達成できていない

2 市民事業等支援制度は利用しやすい制度となっているか

市民事業等支援制度の利用のしやすさについてA～Eの5段階で評価していただき、その理由を具体的に記入してください。その他、制度について気付いたこと等があれば、その他の欄に記入してください（特にC、D評価をした項目については必ず記入してください）。

評価項目	評価欄	具体的な理由
申請手続きについて	A	<ul style="list-style-type: none"> 「事業収支予算書」の「費目」に『安全対策費』を新設して安全講習会等の費用を「事務費」から分離したほうが良いと思われます。
審査方法について	C	<ul style="list-style-type: none"> 審査に当たっては、単に机上の想定だけでなく現地の作業状況や整備状況を、視察・確認等により『活動の実態・内容』を十分把握した上で実施して欲しい。
補助対象事業について 〔水源環境の保全・再生に資する事業にもかかわらず、対象外となってしまう事業がないか、等〕	E	<ul style="list-style-type: none"> 特になし
補助対象経費について 〔活動にあたり必要となる経費が補助対象外となっていないか、等〕	C	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動のため作業手当・交通費の支給(出張費を除く)は一切無い、資機材も不足分は個人所有物を使用しており、多くの会員には遠方より来て労働力の提供を受けているため、せめて「弁当と水またはお茶」程度は提供したい、このため自主財源で実施している、以前のように補助対象として欲しい。(何も提供しないと「会員離れ」が危惧される)
補助額について	B	<ul style="list-style-type: none"> 「資機材費」の累計限度額を、最大5年間のため50万円(平均年10万円)から100万円(平均年20万円)への変更が妥当と思われる。
補助期間について	C	<ul style="list-style-type: none"> 現在補助金を受けている事業の大部分が「継続実施が必要」で、活動を停止すると以前の「悪環境」に戻ってしまいます、他の補助金も期間限定がほとんどです、「水源環境保全」には継続した補助が必要です。 * 現在の活動と同等の事業を行政で実施した場合は補助金の何倍もの費用が必要となります。
中間報告について	A	<ul style="list-style-type: none"> 現行通りで良いと思います。
実績報告について	A	<ul style="list-style-type: none"> 現行通りで良いと思います。
その他 (資機材費)	D	<ul style="list-style-type: none"> 刈払機等の「会員数による台数算定」については、「作業実態による台数算定」として欲しい、当クラブのように「草刈り作業」が主の団体は、ほとんどの作業者に刈払機が必要であり、他の団体とは必要台数が違うため。

A…概ね満足できる

B…どちらかと言えば満足

C…どちらかと言えば不満

D…不満

E…回答不能

3 水源環境の保全・再生に係る団体間でのネットワークが構築できているか

市民事業等支援制度では、ネットワークの構築のため、市民事業交流会の実施や県ホームページに各団体のイベント情報・活動支援情報の掲載等を行っておりますが、これらを活用することによって、団体間でのネットワークが構築できていますか。A～Eの5段階で評価していただき、その理由を具体的に記入してください。(特にC、D評価をした項目については必ず記入してください。)

評価項目	評価欄	具体的な理由
市民事業交流会 について	B	<ul style="list-style-type: none"> 河川整備関係団体が少ないため交流は少ないが、「日本の竹ファンクラブ」との共同作業や森林整備団体のイベントへ参加等を実施した。
公開プレゼンテーション（3月開催の2次選考会） について	C	<ul style="list-style-type: none"> 公開プレゼンの1団体の発表時間が短すぎる、予算内容を理解して頂くには活動内容を良く判った上で判断して欲しいため。 発表を2日に分けて、審査結果は後日連絡でも可と思われます。
県ホームページのイベント情報・活動支援情報等 について	D	<ul style="list-style-type: none"> 26年度は「補助金団体」の内容が更新されてなかった、補助金団体決定後早急に更新して頂きたい。

A…概ね満足できる

B…どちらかと言えば満足

C…どちらかと言えば不満

D…不満

E…回答不能

ネットワークの構築やその他の支援として必要なものを挙げてください。(補助金の交付以外の支援について記載してください。)

4 補助期間終了後の活動の見通しは立っているか

市民事業等支援制度は、定着支援部門で最長3年間、高度化支援部門で最長5年間の補助となっていますが、補助期間終了も活動を継続していくための準備はできているか、A～Eの5段階で評価していただき、その理由等を具体的に記入してください（特にC、D評価をした項目については必ず記入してください）。

評価のポイント		評価欄	具体的な理由と今後の見通し・計画等
活動が継続的に展開されているか	中長期的な活動計画があるか（補助終了後の活動計画があるか）	A	・ 整備・保全活動が停止すると2・3年で以前のような荒廃した状況になってしまうため継続した活動を計画している。
	補助終了後も、活動を継続・発展させていく見通しは立っているか	B	・ 補助金終了となると会計面で大変厳しい状態になるが、委託事業や他の補助金受領活動に努力して継続させて行く計画です。
継続的に活動するための資金の見通しは立っているか	会員等からの会費収入は確保できているか	B	・ 会費のほとんどは「活動参加時に受領」形式のため一部未納者がある、高齢者が多いため銀行振込・インターネット利用による徴収は難しい。
	製品の販売等による自主財源の確保はできているか	D	・ 活動内容から「製品販売」は難しい、検討して製品化出来るものがあったとしても「小額」と思われます。
	イベント等を通じた寄付金の確保はできているか	D	・ 今後の活動で「寄付金」の収入に努力するが、現在はほとんど無い。
	他の補助金の活用による財源の確保はできているか	D	・ 現在無し
	企業のCSR活動等と連携した活動資金の確保はできているか	D	・ 継続申請しているが、採用なし

A…概ね達成できている

B…どちらかと言えば達成できている

C…どちらかと言えば達成できていない

D…達成できていない

E…回答不能

5 自由意見

その他、市民事業等支援制度に関してご意見等ございましたら、自由に記入してください（この欄に書ききれない場合は、別紙にご記入ください）。

【補助金の分割支給について】

NPO法人等の大きな団体は別だと思いますが、小さな団体やまだ基盤が確立していない団体では『補助金頼り』で活動をしています、ところがこの補助金は「年度終了して審査完了後に支給」となっているため、一年間の資金は「借入金」で運営する形になっています。

希望としては「補助金一括前払い、年度終了後清算」して欲しいが、いろいろの問題が有ると思われしますので、「案」として、前半分を「中間報告」で審査し、補助金対象実施分を「仮支給」して年度実施後に残り分を含め「本清算」とする事を検討して頂きたいと思っております。

* 現在は「資機材費の仮払い」はありますが、事業補助金についてお願いします。